

2 環境マネジメントシステムの報告

地域において一事業所である市役所は、企業のように製品の生産は行っていませんが、施策の実行に伴う環境への影響は大きなものがあります。

したがって、今日の環境問題を解決するため、市役所も社会構成員として積極的に環境問題に取り組む必要があります。

市では、環境への負荷を低減する取り組みを行うため、本庁舎を対象に平成 16 年 3 月に ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムの認証を取得し、継続的に環境保全と改善に取り組み、平成 18 年 3 月に 2 回目の定期審査を受審しました。

認証の内容

1	認証登録日	2004 年 3 月 5 日
2	登録証番号	JQA EM 3 7 9 5
3	登録事業者名	遠野市役所
4	登録活動範囲	遠野市役所本庁舎における事務事業
5	審査登録機関	財団法人日本品質保証機構

1 環境に配慮した事務事業の推進

ふるさと遠野の環境を守り育てる基本条例の制定、環境基本計画の策定が終了し、実施段階に入りました。また、自然保護管理員、指導員等によるパトロールを行い、優れた自然環境の保全に努めるとともに、家庭用小型焼却炉を回収し適正な処分を行いました。

河川の水質汚濁防止については、市内 12 河川 16 地点で水質検査を行い、環境基準の達成状況を把握するとともに、小中学生による水生生物調査を実施し、水質汚濁の防止、啓発活動を推進しました。

また、浄化槽の設置補助、公共下水道整備事業、農業集落排水整備事業を実施して、水洗化率の向上を図っています。

公共工事に関する環境配慮手順書を作成し、工事施工による環境への負荷低減に努めています。

2 エコオフィス活動の推進

市役所内の通常の事務活動でも、環境へ負荷を与えています。そのため、エコオフィス手順書を作成し、電気・水道・暖房用燃料・ガソリン等の削減、紙等の使用削減、廃棄物排出抑制など省エネルギー・省資源の目標を掲げ、その達成に向け取り組んでいます。また、環境負荷の少ない事務用品の調達（グリーン購入）に努めています。

平成 17 年度の省エネルギーの推進については、ガス・重油に関しては、削減目標を達成していますが、電気・灯油・ガソリン・軽油につきましては、旧市村合併による事務量の増加と大雪による除雪用軽油使用量が増加したため、削減目標を達成することが出来ませんでした。

省資源化・廃棄物の再資源化・グリーン購入の推進については、目標を達成していますが、廃棄物につきましては、年 3 回の異動時の排出量が増加したため、目標を達成することが出来ませんでした。

省エネルギーの推進

項 目	電気 (kwh)	ガス (m ³)	重油 ()	灯油 ()	ガソリン ()	軽油 ()
14 年度使用量	364,069	604	46,620	3,397	31,560	25,495
17 年度使用量	398,806	525	43,821	5,496	30,036	27,438
17 年度達成目標	6%削減	6%削減	6%削減	6%削減	7%削減	7%削減
達成率	9.5%	13.0%	6.0%	61.8%	4.8%	7.6%

省資源化、廃棄物の減量、グリーン購入の推進

項 目	水道水 (m ³)	事務用紙 (kg)	廃棄物 (kg)	再資源化 (kg)	グリーン 購入
14 年度使用量	6,735	18,748	14,400	-	-
17 年度使用量	6,244	12,804	16,586	16,586	-
17 年度達成目標	5%削減	10%削減	7%削減	50%以上	50%以上
達成率	7.3%	31.7%	15.2%	55.9%	59.4%

*再資源化の欄に関しては、総排出量に対する再資源化比率。

*グリーン購入の欄に関しては、総購入額に対するグリーン商品購入比率。

3 職員意識の向上等

職場内では職員の環境と保全に対する意識の向上を図り、実践をとおして市民・事業者の模範となるよう、職員研修を実施しています。

また、庁舎内で最大の環境負荷施設であるボイラーのばい煙測定を毎年行い、17 年度は全ての排出濃度が、基準値以下でした。